

## 2010年度 日本文化人類学会

### 第4回理事会 議事録(案)

日時：2010年10月10日(日) 14:00～

会場：東京外国語大学・本郷サテライト 7階会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、岡田、小田、鏡味、栗田、栗本、桑山、関根、高倉、棚橋、玉置、中川、  
中谷、名和、森山、渡辺(公)

委任状提出：葛野、佐々木、清水、三尾

#### 【承認事項】

1. 前回(2010年度第3回)理事会議事録を承認。
2. 新入会員(8名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 論説資料保存会による『文化人類学』掲載論文転載を許諾。
4. 「IUAES2011年中間会議について」をJASCA-INFOで配信することを承認。

#### 【報告事項】

1. 会長報告
  - ・「元気な日本復活特別枠」へのパブリックコメントについて、各理事からもできる限りコメントを寄せるよう依頼があった。
  - ・日本学術会議若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会委員候補者の公募への応募依頼を行ったが、応募者全員が不採用だったことを報告。
  - ・11月1日に宮城県多賀城市で開催された第5回人類学関連学会協議会合同シンポジウムに出席したことを報告。これに関連して、栗田理事より、各学会持ち回りで開催されてきた人類学関連学会協議会合同シンポジウムは今回でちょうど一巡したことになるが、今後もこれまでと同様の方式で開催を続けていくことを各学会に提案する予定であることが報告された。
2. 庶務理事報告
  - ・朝日賞候補者の推薦を行ったことを報告。
  - ・第1回「育志賞」の公募を行ったが、応募者がなかったことを報告。
  - ・梅棹文庫への学会誌の寄贈依頼があったが、前例がないため、寄贈しないこととしたことを報告。
  - ・神奈川大学日本常民文化研究所の第2回国際常民文化研究機構国際シンポジウム「“モノ”語り 民具・物質文化からみる人類文化」の後援依頼があり、総務会で承認の上、後援することとしたことを事後報告。
  - ・学会賞投票に関する途中経過を報告。
  - ・窪徳忠名誉会員が10月2日に逝去されたため、学会の弔意規程に基づき、弔電をお送りしたことを報告。
3. 会計理事報告
  - ・平成21年度科研費(研究成果公開促進費)に関する実地検査及び意見交換が9月7日に行われ、書類保管状況等いずれも適正であると認められたことを報告。
4. 総務理事報告
  - ・第45回研究大会第1回サーキュラーに誤植があったため、研究大会準備委員会に早急な対応を求めたことを報告。
5. 広報理事報告
  - ・学会主催公開シンポジウムを11月13日に札幌において開催する予定であることを報告。また、来年度の学会主催公開シンポジウムを中部地区において開催する予定であり、それに向けて、平成23年度平成21年度科研費(研究成果公開促進費)の申請を行なう予定であることを報告。開催の準

備と申請書の作成に関しては、中部地区の玉置理事に協力を仰ぐこととした。

・JASCA-NET上でチェーンメール誘発の可能性のある投稿へ情報化委員（JASCA-NET 監視担当）が注意を促したことを報告。これに付随して、チェーンメールの問題点について説明があり、従来通り、投稿内容の如何にかかわらず、JASCA-NET上でチェーンメール誘発の可能性のある投稿については引き続き注意喚起を行うこと、学会ホームページの「JASCA-NETの利用について」にチェーンメール誘発の可能性のある表現について注意を促す文言を追加することとした。

・事務局のPCを更新したことを報告。

・「第1回『育志賞』の候補者募集について」をJASCA-INFOで配信したことを報告。

・「人類学関連学会協議会合同シンポジウムについて」を、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。

・国際連携委員会より、「第8回中央アメリカ人類学会議（Central American Congress of Anthropology）についてのお知らせ」のJASCA-INFO配信の依頼があり、総務会で承認の上、配信したことを事後報告。

・「『元気な日本復活特別枠』へのパブリックコメントについて」を、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。

・国立情報学研究所による「学協会情報発信サービスにおけるホームページ構築・提供支援事業の終了」について報告。

・国立民族学博物館より機関リポジトリへの論文掲載許諾依頼があり、許諾する予定であることを報告。

## 6. 各種委員会報告

・『文化人類学』編集委員会：進捗状況を報告。

・JRCA編集委員会：理事会前に編集委員会を開催したこと及び進捗状況を報告。編集委員会では、投稿が少ないこと、JRCAの位置付け、電子ジャーナル化等について意見交換が行なわれたことを報告。

・民博連携委員会：協定の更新について検討中であることを報告。

・研究グループ制導入検討委員会：理事会前に教育特別委員会と合同で委員会を開催したこと及び進捗状況を報告。

・学会歴史委員会：映像記録の会員向けの公開を神奈川大学日本常民文化研究所において開始する予定であることを報告。栗本理事より、すでにデータ化されているその他の記録についても出来るだけ早く公開を開始するようとの要望が出された。

・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究會開催状況、開催予定を報告。

・倫理規定検討委員会：進捗状況を報告。

・学会賞選考委員会：進捗状況を報告。

・広報委員会：11月13日に札幌において開催される学会主催公開シンポジウムに関して、事務局にクレームの電話があったことを報告。

## 【審議事項】

### 1. 「梅棹先生をしのぶ会（10月20日）」への会長の出席について

・森山会計理事より、梅棹忠夫名誉会員の葬儀の際にはご遺族の意向により学会からの弔電・供花等を行わなかったため、「梅棹先生をしのぶ会」に会長が会務として出席すること、その交通費を予備費から支出することが提案され、審議の結果、承認された。

### 2. 終身会員制の導入について

・渡邊会長より、終身会員制の導入について原案の提示と趣旨説明があり、意見交換の結果、終身会員制でなく、会費納入に関する新たな制度の導入という方向で、継続して審議を行なうこととした。

### 3. 「若手部会（仮称）」設置準備について

・鏡味理事より、理事会前に研究グループ制導入検討委員会と合同で開催した文化人類学教育特別委員会において、就職支援のための若手向けジャーナルの創刊、若手に対する説明会開催の必要性等が議論されたことが報告され、今後具体案を検討する場として、文化人類学教育特別委員会の下に、同委員会委員若干名と若手会員数名からなる「若手部会設置検討ワーキンググループ」を設置することが提案された。審議の結果、名称を「若手支援策実施検討ワーキンググループ」と改めて設置することとし、jasc a-infoを通じて若手会員から数名のワーキンググループ委員を公募することとした。

4．若手会員の会費減額制度の導入について

- ・渡邊会長より、若手会員の会費減額制度の導入についての検討を行うことが提案され、意見交換の結果、継続して審議を行なうこととした。

5．会員の受賞や称号授与に関する学会HPへの掲載について

- ・渡邊会長より、会員の受賞や称号授与を学会HPへ掲載することが提案され、審議の結果、掲載を行わないこととした。

以上